

〈 セミナーのご案内 〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回
覧

--	--	--	--	--

高等教育活性化シリーズ 154 (通算 443 回)

2009 年 10 月 29 日 (木)

「主体的学習」を原動力に——

学生参画による“学び協働コミュニティ”の進化

高等教育活性化シリーズ 155 (通算 444 回)

2009 年 10 月 30 日 (金)

履修指導・成績証明の説明責任——

成績評価の厳格化と GPA 活用の進化

「主体的学習」を原動力に ——

学生参画による“学び協働コミュニティ”の進化

～ SA (アシスタント)・ES (サポーター)の活躍によるピア・サポートの実際 ～

- ※ [創価大経済学部] SA 制度～目的・選抜・任命・研修／基礎ゼミ・必修・選択科目での活躍
- ※ [北海道医療大] 学生の運営参画～キャンパス副学長／第 1 期活動報告／キャリア・就職での協働
- ※ [立命館大] ピア・サポートの風土と成熟／オリター制の進化／学生間・教員と学生のつながり

● 講師陣 ●

長谷部秀孝 氏 / 創価大学 経済学部長
佐藤 大樹 氏 / 創価大学 経済学部 学生 Student Assistant
高見 裕勝 氏 / 北海道医療大学 経営企画部 人事課長
斉藤 芳敬 氏 / 北海道医療大学 学生キャンパス副学長
浅野 昭人 氏 / 立命館大学 キャリアセンター次長

2009 年 10 月 29 日 (木) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)

履修指導・成績証明の説明責任——

成績評価の厳格化と GPA 活用の進化

～ 絶対的相対評価／教員間調整／得点分布公表の点検・評価／学生からの信頼度 ～

- ※ 成績評価の責任／質の確約／絶対的相対評価／日本の特性の勘案／Functional GPA
- ※ [東京大 教養学部] 進学振分けへの活用／履修指導・進学／成績評価の申合わせと運用
- ※ [桜美林大] GPA 制度運用 9 年の総括／成績評価の等質化への取組み／新評価制度の検討
- ※ [同志社大] 大学の成績評価はパンドラの箱！？／GPA 得点分布公表の検証／IR への進化

● 講師陣 ●

半田 智久 氏 / お茶の水女子大学 教育開発センター 教授
兵頭 俊夫 氏 / 東京大学 教養学部附属教養教育開発機構
大学院総合文化研究科 関連基礎科学系 教授
大越 孝 氏 / 桜美林大学 大学管理・運営担当副学長
圓月 勝博 氏 / 同志社大学 教育支援機構長・教授

2009 年 10 月 30 日 (金) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)



地域科学研究会・高等教育情報センター

[参加要領]

日時 : 高等教育活性化シリーズ 154 「学生参画による“学び協働コミュニティ”の進化」
 2009年10月29日(木) 9:40~16:50
 高等教育活性化シリーズ 155 「成績評価の厳格化とGPA活用の進化」
 2009年10月30日(金) 9:30~16:50

会場 : 剛堂会館(明治薬科大学)会議室 (東京・麹町) ※両日程、同会場です
 東京都千代田区紀尾井町3-27 TEL 03-3234-7362
 (東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口から徒歩4分、JR中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口から徒歩10分)

参加費	ご一名 (資料代を含む)	メディア参加 (資料及び音声CD送付)
高等教育活性化シリーズ 154 学生参画による“学び協働コミュニティ”の進化	41,000円 (消費税込)	42,000円(送料、消費税込)
高等教育活性化シリーズ 155 成績評価の厳格化とGPA活用の進化	40,000円 (消費税込)	41,000円(送料、消費税込)

※参加費の払い戻しはしませんので、申し込まれた方の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

申込方法 : 参加申込書に所要事項を記入のうえ FAX または Email にてご送付ください。

受講証と会場地図を送付しますので必ずご確認ください。

支払方法 : 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。


みずほ銀行麹町支店 普通 1159880 三菱東京UFJ銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658 *郵便振替:00110-8-81660

口座名 (株)地域科学研究会

(なお、ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます)

インターネットでのご案内は⇒ <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/> E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp

お申込み・お問合せ  地域科学研究会 東京都千代田区一番町6-4 ライオンズ第2-106
 高等教育情報センター TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

2009年 月 日

- 高等教育活性化シリーズ 154 学生参画による“学び協働コミュニティ”の進化
 当日参加 メディア参加
- 高等教育活性化シリーズ 155 成績評価の厳格化とGPA活用の進化
 当日参加 メディア参加 (□に✓印を入れてください)

勤務先 _____

所在地 〒 _____

TEL _____

FAX _____

連絡部課・担当者 _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

(通信欄) 支払方法(郵便振替・当日払い・銀行振込) 請求書(要 不要)

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
9:40 ～ 11:40	<p>□ [創価大 経済学部] 学生と教員が協働して作り上げる授業 ～Student Assistantの授業サポートによる授業の充実化の具体例～ 創価大学 長谷部秀孝／佐藤 大樹</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. SA制度導入の経緯 <ul style="list-style-type: none"> (1) 10年前の経済学部の状況 (2) SA制度の導入 (3) 教員の姿勢 2. SA制度とは <ul style="list-style-type: none"> (1) SA制度の目的 (2) SAの選抜・任命 (3) SA研修 3. SA制度の現状 <ul style="list-style-type: none"> (1) 基礎ゼミにおけるSAの役割 (2) 必修科目におけるSAの役割 (3) 選択科目におけるSAの役割 4. まとめ <ul style="list-style-type: none"> (1) SAの実績 (2) これからの展望 <p style="text-align: right;">(質疑応答)</p>
12:40 ～ 14:40	<p>□ [北海道医療大] 学生キャンパス副学長制度による大学運営の進化 ～大学改革とSD研修/学生の大学運営参画/1人30万円の活動費/自主・自由な発想～ 北海道医療大学 高見 裕勝／斉藤 芳敬</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学生キャンパス副学長制度導入の背景 <ul style="list-style-type: none"> (1) 中長期計画の策定 (2) SD研修 2. 学生キャンパス副学長 (SCP: Student Campus President) 制度 <ul style="list-style-type: none"> (1) 制度概要 (2) 制度運用 3. 学生キャンパス副学長第1期プロジェクト活動報告 <ul style="list-style-type: none"> (1) SCP会議 (2) 学生アンケートの実施 (3) 食堂改善プロジェクト (4) 大学ブランド商品の開発 (5) 成績向上プロジェクト (6) 薬物乱用根絶プロジェクト 4. SCP2期目に向けて <ul style="list-style-type: none"> (1) 文部科学省 大学教育・学生支援推進事業の採択 「学生キャンパス副学長との協働によるキャリア・就職支援」 <p style="text-align: right;">(質疑応答)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「大学改革への学生参画を目指して」 学生キャンパス副学長 斉藤芳敬</p> <p>SCPという学生代表として、学生の視点を大学改革に反映させる仕組みづくりの構築過程、活動内容についてお話ししたいと考えています。私たち学生の力がよりよい大学づくりへの一歩につながればと考えています。</p> </div>
14:50 ～ 16:50	<p>□ [立命館大] ピア・サポートの風土と成熟～オリター制度の進化 ～正課授業へのES(Educational Supporter)制度導入の成果と今後の改善に向けた方向性(試案)～ 立命館大学 浅野 昭人</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 立命館大学の今 <ul style="list-style-type: none"> (1) 学生数の推移 (2) 学生ニーズ、学習実態、進路・就職希望の多様化 (3) 本学の特徴、課題への対応 2. ピア・サポート制度(黎明期) <ul style="list-style-type: none"> (1) 自主的「オリター活動」の発足 (2) 制度化に向けた議論 (3) 「オリター制度」の発足 3. ピア・サポート制度(第1期) <ul style="list-style-type: none"> (1) オリター制度の概要 (2) オリターの活動内容 (3) オリターの登録数 (4) オリター制度に対する評価 4. ピア・サポート制度(第2期) <ul style="list-style-type: none"> (1) ジュニア・アドバイザー制度の概要 (2) ジュニア・アドバイザーの登録数 5. ピア・サポート制度(第3期) <ul style="list-style-type: none"> (1) ES制度の概要 (2) ESの登録数 (3) ES導入で得られる教育成果 (4) ESの機能(Win-Winの関係構築) 6. ピア・サポート制度の到達点 <ul style="list-style-type: none"> (1) 制度の現状 (2) 制度の全体像 (3) ピア・サポート論の開講 7. 今後の改善に向けた方向性(試案) <p style="text-align: right;">(質疑応答)</p>

時間	講義項目
9:30 } 11:00	<p>□ 厳格な成績評価とは～“絶対的相対”評価と説明責任 ～評価指標としての functional GPA システム～</p> <p style="text-align: right;">お茶の水女子大学 半田 智久</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 厳格な成績評価と質の確約 2. 絶対的相対評価とアカウンタビリティ 3. 成績評価における国際的通用性と日本の大学特性の勘案 4. GPAを噛み尽くすために— 堅牢にして柔軟なシステムへ— functional GPA system <p style="text-align: right;">(質疑応答)</p>
11:10 } 12:40	<p>□ [東京大 教養学部] 成績評価と学生の履修・進路指導 ～公正な進学振分けへの活用—申し合わせと運用～</p> <p style="text-align: right;">東京大学 兵頭 俊夫</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 東京大学教養学部前期課程のカリキュラム (2006年施行) <ol style="list-style-type: none"> (1) 東京大学の学部教育システム (2) カリキュラムの構成と成績評価 (3) 第1学年留年の導入 2. 進学振分け制度 <ol style="list-style-type: none"> (1) 2段階振分けとそれぞれの定数 (2) 指定科類枠と全科類進学枠 (3) 進学振分けに用いられる成績評価 3. 進学情報センター <ol style="list-style-type: none"> (1) 情報の提供 (2) 進路指導 <p style="text-align: right;">(質疑応答)</p>
13:40 } 15:10	<p>□ [桜美林大] 教育の質の向上を目指して ～GPA制度導入後9年を振り返って～</p> <p style="text-align: right;">桜美林大学 大越 孝</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. カリキュラム基本理念 <ol style="list-style-type: none"> (1) 学部学科制度と学習区分 (2) セメスター制度導入と学習の質的变化 (3) 新制度導入による成果 2. GPA制度導入までの経緯 <ol style="list-style-type: none"> (1) GPA制度の導入検討 (2) GPA制度導入時の工夫と準備 (3) GPA制度の運用と課題 3. 新たな教育制度への転換と課題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 学部学科制度から学群制度へ (2) 基盤教育院/コーナー・ストーンセンターの設置 (3) ブリッジ・カレッジ (入学前教育) の取り組み 4. 成績評価の厳格化とFDの取り組み <ol style="list-style-type: none"> (1) 過去10年の成績評価の分析 (2) 成績評価の等質化へ向けた取り組み (3) 新たな評価制度導入の検討 <p style="text-align: right;">(質疑応答)</p>
15:20 } 16:50	<p>□ [同志社大] GPA得点分布公表を自己点検・評価する ～大学の成績評価はパンドラの箱だったのか～</p> <p style="text-align: right;">同志社大学 圓月 勝博</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. GPA得点分布公表実施の経緯 <ol style="list-style-type: none"> (1) GPAについて話し合う (2) 成績評価について考える (3) 「楽勝科目」について悩む 2. FDとしてのGPA得点分布公表 <ol style="list-style-type: none"> (1) 教員が自己評価する (2) 教員が同僚評価する 3. コミュニケーション・ツールとしてのGPA得点分布公表 <ol style="list-style-type: none"> (1) 教員が担当科目を講評する (2) 学生が自己評価する 4. GPA得点分布公表から内部質保証システムへ <ol style="list-style-type: none"> (1) 大学が説明責任を自覚する (2) GPA得点分布公表からIRに進む <p style="text-align: right;">(質疑応答)</p>